






鼠径ヘルニア摘出術を受けられる患者さんへ

様

	手術前日		当日		手術後1日目	手術後2日目以降
			手術前	後		
	月 日()		月 日()			
目標	安心して手術を受けることができる		身体の変化があれば言える			
処置・検査・観察	検温があります	検温があります	検温があります 吐き気や痛みなどがないか伺います 酸素マスクと心電図のモニターをつけます (酸素は適宜状態に応じて使用します) 手術室より尿の管を入れます	検温があります 朝採血があります 心電図は午前中に外します	検温があります	
内服・注射・点滴	持参薬を確認します・夕食後・寝る前に下剤を内服します	必要な薬を6時までに内服します (血糖降下薬は服用しないでください) 朝浣腸をします 持続点滴を開始します	持続的に点滴をします 痛み止めの点滴があります	持続点滴が終了します 痛み止めの点滴があります	痛みが強いときは痛み止めを使用します	
安静度	制限はありません 	制限はありません 手術室まで歩いて行きます	ベッドでの帰室になります 床上安静ですが膝を立てたり寝返りは可能です 術後6時間よりベッドヘッドアップ可能となります	外科回診後より、フットポンプを外し自由に過ごせます 初回歩行時は看護師が見守ります		
栄養(食事)	夕食以降絶食です		術後6時間より水・お茶を飲むことができます	朝から食事が再開されます		
清潔	シャワー浴できます お臍の掃除をします			全身を清拭し更衣します		
排泄	制限はありません			尿の管を抜きます		
指導・説明	主治医からご本人と家族の方に手術内容について説明があります 同意書にサインをして看護師にお渡しください 看護師から手術前後の事について説明があります 麻酔科医より麻酔について説明があります (説明が翌日になることもあります)	義歯、時計、ピン等の金属類は外してください 手術前に弾性ストッキングをはきます	主治医から手術の結果について説明があります フットポンプを装着します		3日目以降退院可能です	

なお、患者様の状態に応じて予定が変更になる場合があります。
ご不明な点がございましたら、お尋ねください。

主治医() 看護師() 薬剤師()